

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	舞踊論 (Theory of Dance)	新座(Niiza)	
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	舞踊の意味を探る		
担当者名 (Instructor)	糟谷 里美(KASUYA SATOMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)		言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	2015年度以前1年次入学者対象科目		

授業の目標(Course Objectives)

本授業は、社会における多種多様な舞踊を取り上げ、現象としての舞踊を理論的科学的に捉えることにより、様々な視点から身体文化の一つである舞踊の意味を探求する力を涵養する。

This course takes up a diverse range of dances in society, and cultivates students' ability to explore the meaning of dance which is one of human culture by understanding dance theoretically and scientifically from various viewpoints.

授業の内容(Course Contents)

本授業は、地域に根差した文化や舞踊家たちの芸術活動の背景に触れながら、そこに出現する様々な舞踊に着目し、関連する研究を通じて、舞踊への理解を深めていく。取り上げる舞踊は、「生活文化の中の舞踊」「芸術としての舞踊」「教育の中の舞踊」「身体科学の中の舞踊」等である。授業内では、映像を適宜用いながら、舞踊について考察していく。

This course touches on the background of cultures in communities and of the dancers that appear in these communities to deepen students' understanding of dance through related research. The dances to be taken up are "dance in our life", "dance in art", "dance in education", and "dance in physical science", etc. In the classes, we will study dance while watching videos as appropriate.

授業計画(Course Schedule)

1. 舞踊とは何か
2. 生活文化の中の舞踊
3. バレエの発祥と発展
4. モダンダンスの成立背景と展開
5. バレエ・リュスとその遺産
6. 芸術としての舞踊
7. モダンダンスの発展
8. バレエとモダンダンスの融合
9. コンテンポラリーダンスに求められるもの
10. 教育としての舞踊
11. 日本における洋舞史
12. 邦舞と洋舞の違いとは
13. バレエを科学する
14. 舞踊をめぐる様々な視点

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業内容に関連した舞踊を劇場において生(ライブ)で観る機会を持ち、舞踊への理解を深めることが望ましい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(50%)/出席および授業に取り組む姿勢(50%)

テキスト(Textbooks)

授業内で資料(レジュメ)を配付する。

参考文献(Readings)

授業内で紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

